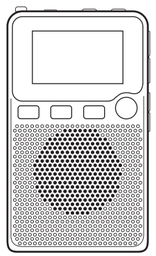
AudioComm®

DSP FMステレオ/AM ポケットラジオ

RAD-P2229S
シリーズ



AM　FM ステレオ※　※ステレオイヤホン使用時
※FM補完放送対応

取扱説明書

弊社の
AudioComm® DSP FMステレオ/AMポケットラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による事故につながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

⚠警告　「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- ●乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- ●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。
- ●車、バイクの運転中はイヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。

⚠注意　「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- ●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
- ●窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- ●イヤホン使用時、耳に負担をかける大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。
- ●電池は、プラス⊕とマイナス⊖の表示どおりに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- ●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池（例:アルカリとマンガン）を一緒に使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- ●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

《ラジオ本体のお手入れの仕方》
柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。
シンナー・ベンジン・アルコールは本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

現　象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認（残量がない場合は電池を交換）。 ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

電源について

乾電池装着の仕方

背面

❶ 本体背面の電池ボックスカバーのOPEN▼の刻印部分を矢印方向に押し下げてはね上げます。（右図参照）
❷ 電池ボックスに、単4形乾電池2本（別売）を入れます。電池ボックス内に表示されているプラス⊕、マイナス⊖の極性どおりに正しく入れてください。
※乾電池はマイナス⊖側から先に装着してください。
❸ 電池ボックスカバーを❶と逆の手順で閉めると、装着完了です。

※電池を外すと、設定していた時計、アラーム、放送局メモリーがリセットされます。
電池交換時などは、再度設定し直してください。
※本機はアルカリ乾電池の使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

電源についてのご注意
初めてご使用になる場合、乾電池を装着してから可動状態になるまで約5～6秒ほど要することがあります。可動状態になると液晶画面の表示が現れます。その後各操作を行ってください。可動状態になるまで液晶画面には何も表示されませんが、故障ではありません。

主な仕様

受信周波数	AM 522—1620 kHz FM 76—108 MHz
メモリー	FM/AM各20局（合計40局）
電　源	DC3V 単4形乾電池×2本（別売）
電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信 約30時間、FM受信 約28時間 イヤホン使用時 AM受信 約33時間、FM受信 約31時間 ※（アルカリ乾電池新品使用、音量中程度）
外形寸法	幅57×高さ97×奥行19mm（突起物含まず）
質　量	約70g（乾電池含まず）
付属品	ステレオイヤホン、取扱説明書、保証書

※仕様及び外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

- ● 調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、販売店または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- ● 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- ● 保証期間が過ぎていても、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理させていただきますので、販売店または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

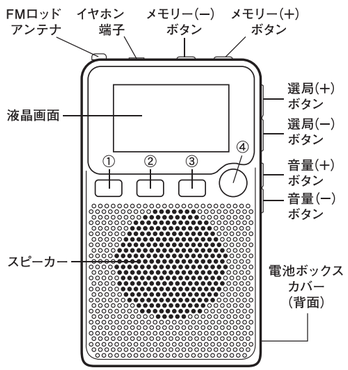
Memo

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：00　※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00　※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

ラジオ各部の名称



①FMステレオ⇔モノラル/ロックボタン ②設定/スキャンボタン
③バンド/アラームボタン ④電源/スリープボタン

ラジオの使い方

❶「電源/スリープボタン」を押すと電源が入ります。
液晶画面が時刻表示→「ON」表示→周波数表示になります。

電源ON表示

❷「音量(—)ボタン」または、「音量(+)ボタン」を押して音量を調節します。
❸「バンド/アラームボタン」を押すごとに、AM⇔FMに切り替わりますので、お聴きになるバンドを選択します。
❹「選局(+)ボタン」または「選局(—)ボタン」を押して、お聴きになる放送局に合わせます。なお同ボタンを約2秒長押しすると、自動選局となり、電波の強い放送局を自動検知して止まります。
※AMは9kHz、FMは0.1MHzステップで周波数が増減します。
❺電源を切るときは、「電源/スリープボタン」を押します。液晶画面が「OFF」表示→時刻表示になります。
※本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであるため、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。
ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
ワイドFM（FM補完放送）の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。
詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

音量表示（VOL.00～38）

AM表示

FM表示

電源OFF表示

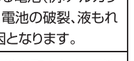
■付属のステレオイヤホンのご使用について
「イヤホン端子」に付属のステレオイヤホンのプラグを接続してご使用ください（接続時は音量を下げて、耳に負担のない音量に徐々にあげてください）。
※イヤホン使用時はスピーカーから音は鳴りません。

受信について

■AM放送を聞くとき
本体を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■FM放送を聞くとき
「FMロッドアンテナ」を伸ばし、一番良く受信できる方角に向けてください。
また、本機はFMステレオ⇔モノラル切り替え機能付です。FM放送受信中に「FMステレオ⇔モノラル/ロックボタン」を押すごとに、FMステレオ⇔モノラルに切り替わりますので、電波が弱い時は、聴き取りやすいモノラル受信に切り替えてご使用ください。

FMステレオ表示



■電車や建物の中で聞くときは
電波状態が悪い所では受信できないことがあります。
本体をできるだけ窓に近づけてお使いください。

■音声について
●AMはモノラル音声、FMはステレオ音声（モノラル切り替え機能付）です。
●本機はTV放送の音声は受信できません。

便利な機能について

■液晶バックライト
各ボタンを押すごとに液晶が約5～7秒点灯します（電源オフの状態でも機能します）。暗い場所などで便利です。

■誤操作防止ロック機能
「FMステレオ⇔モノラル/ロックボタン」を約2秒長押しすると、すべての操作がロックされ誤操作を防止します。再度、約2秒長押しするとロックが解除されます。

ロック中はロックアイコン点滅

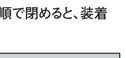
プリセットメモリーの使い方

■手動で選局して保存する場合
❶「ラジオの使い方・項目❶～❹」までの手順で選局します。
❷「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画面にプリセット登録番号が約3秒点滅します。
点滅中に「メモリー(+)ボタン」と「メモリー(—)ボタン」を使用して、設定する任意のプリセット登録番号（0～19まで）を点滅させます。
❸再度「設定/スキャンボタン」を押すと、設定したプリセット登録番号で保存完了です。
❹同じ手順でAM/FM各20局までメモリー保存可能です。

プリセット登録番号点滅

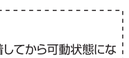
■自動で選局・保存する場合（ATS）
❶「ラジオの使い方・項目❶～❸」までの手順でAMかFMを選択します。
❷「設定/スキャンボタン」を約2秒長押しすると、ATSが作動して受信感度のいい放送局を自動で選局・保存します（AM/FM各20局まで）。
※ATS（オートチューニングストレージ）を使用してプリセット登録すると、以前のプリセットメモリーは上書き消去されますのでご注意ください。

SCAN点滅



■プリセット登録した局の聴き方
❶「ラジオの使い方・項目❶～❸」までの手順でAMかFMを選択します。
❷メモリー(+)ボタンとメモリー(—)ボタンを使用して、液晶画面に表示されるプリセット登録番号より、お聴きになる番号（局）を選んでお聴きください。

プリセット登録番号を選ぶ



時刻とアラームについて

■時刻の設定
❶電源オフ時に「設定/スキャンボタン」を押します。液晶画面に「12（または24）Hr」表示が点滅。「選局(+)ボタン」「選局(—)ボタン」で、12⇔24時間表示を選択、「設定/スキャンボタン」を押して決定します（12時間表示の場合、液晶画面表示は、午前は表示無し、午後は「PM」と表示されます）。
❷次に「時」が点滅、「選局(+)ボタン」「選局(—)ボタン」で、「時」を選択し、「設定/スキャンボタン」を押して決定します。
❸次に「分」が点滅、「時」と同じ手順で「分」を決定します。

「時」点滅

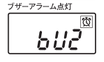
「分」点滅

■アラームの使い方
❶電源オフ時に「バンド/アラームボタン」を押します。液晶画面に「🔔」を表示。
❷「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画面の「🔔」と「時」表示が点滅します。「時刻の設定・項目❷～❸」の手順でアラーム時刻を設定します。
❸次に「rAd（ラジオ）」または「buZ（ブザー）」表示が点灯、「選局(+)ボタン」「選局(—)ボタン」で2種類のアラームから選択し、「設定/スキャンボタン」を押して決定します。ラジオを選択する場合は「ラジオの使い方」の手順で任意の放送局をあらかじめ選択しておいてください（ラジオアラームは音量VOL.38に自動設定されます）。
❹設定時刻にアラームが鳴ります（約5分間）。アラームを切るときは「電源/スリープボタン」を押します（アラーム設定は保存されます）。

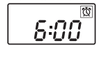
アラームアイコン表示

ラジオアラーム点灯

ブザーアラーム点灯



アラームを切った後もアラームアイコン表示



❺アラーム設定を解除するには、電源・オフ時に「バンド/アラームボタン」を押します。液晶画面の「🔔」が消灯して設定解除します。

アラーム設定解除でアラームアイコン消灯

※電源オンの状態でもアラームは作動します。
①アラーム音としてブザーを選択している場合→ブザー音に切り替わります。
②アラーム音としてラジオを選択している場合→アラーム設定の音量（VOL38）に切り替わります。
※通常使用の際は、必ずアラームを解除してお使いください。

■スリープタイマーの使い方
❶電源オフ時に「電源/スリープボタン」を約2秒長押しすると液晶画面に「SLEEP 90」が表示されます（スリープ時間90分）。
❷続けて同ボタンを押すごとに80～10分まで10分刻みで設定が可能です。
設定完了後すぐに電源が入り、設定時間が経つと電源が切れます。おやすみタイマーとして便利です。

SLEEP表示